

農作業特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

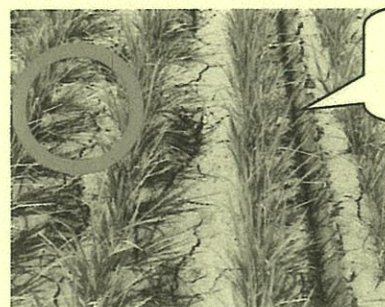
水稻の生育は、やや遅れているものの概ね順調に茎数が確保されています。今後は、『根づくり』に向け、「溝掘り・中干し」を実施しましょう。

1 中干しの前に、確実に“入水・排水するための溝”を作る

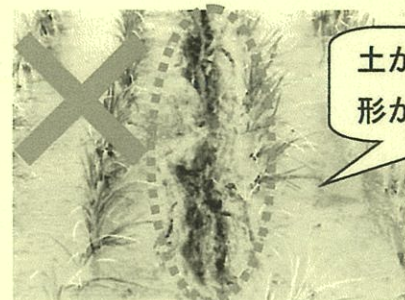
【目的】中干し（排水）やその後の間断かん水（入水）を効率的に行う

【ポイント】…詳細は、前月号を参照

- ①土が軟らかいと掘りにくいため、事前に軽く田干しを行い、土壌をやや絞める。
- ②溝は水がたまっているところを重点に、5mに1本を目安。
- ③枕地側も掘り、長辺に掘った溝と連結する。
- ④溝は排水樹に確実に連結する。



溝がしっかり残っている。



土が軟らか過ぎ、形が崩れている。

2 中干しは、田植後概ね1ヶ月まで（茎数15本/株程度を目途）に開始する

【中干しの効果】

- ①土壌中の有害ガスの除去と酸素供給により、根の伸長を促進する。
- ②過剰な分けつの発生を抑える。
- ③葉が立ち、稲の受光姿勢が良くなる。
- ④田面が硬くなり、コンバイン作業に備えることができる。

【中干しの程度】

中干しは5～7日間程度行い、田面に小さな亀裂が入り、“足跡が残る程度”まで干しましょう（一度に干せなかった場合は、数回繰り返す）。

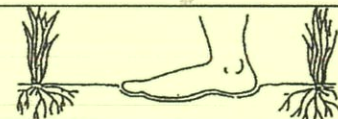
過繁茂になりやすい水田
乾きにくい湿田

田面に大きな亀裂が入るまで強く干す

乾きやすい砂地の水田

一度に強く干さず、田面に小さな亀裂が入る程度まで干す

足跡が残る程度



3 中干し後は「間断かん水」の実施

しっかり田んぼが干せた後は、幼穂形成期頃（7月上旬頃）まで「間断かん水」を行いましょ。

※高温時は、定期的に入水する等、乾き過ぎに注意（地温を下げる）

4 エスアイ加里の施用

ケイ酸やカリは稲体や根の活力を高め、背白・基白粒の発生を軽減する効果があります。作付前に土壌改良資材を施用していない場合や基肥一発肥料を使用している場合は、追肥で補いましょう。

肥料名	施用時期	施用量	留意事項
エスアイ加里らくだ	6月中～下旬	15kg/10a	湛水して散布してください
エスアイ加里 カリ投げくん	6月中～下旬	4kg/10a	

5 後期除草剤の散布

雑草が残った場合は、雑草の種類に応じた後期剤を散布しましょう。

【雑草が残った場合】

適用雑草	除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
ノビエや 広葉雑草	アクシズMX 1キロ粒剤*	1kg/10a	田植後7日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	・5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。 ・散布後数日以内に異常高温が予想される場合は使用しない。
	テッケン ジャンボ*	500g/10a (10パック)	田植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	・水の出入りを止めて6cm程の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。 ・藻が多発しているほ場では使用しない ・散布後数日以内に異常高温が予想される場合は使用しない。
ノビエ	トドメMF 1キロ粒剤	1kg/10a	田植後14日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	・5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。
広葉雑草	バイスコープ 1キロ粒剤*	1kg/10a	田植後14日～ 60日 (収穫45日前まで)	・5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。
	バサグラン 粒剤	3～4kg /10a	田植後15～55日 (収穫60日前まで)	・落水又は出来るだけ浅水状態で雑草を露出させ、晴天日を選んで散布する。散布後3～4日間は水を入れしない。

※「やまだわら」には、アクシズ、バイスコープ、テッケンジャンボの除草剤を使用しないでください。